

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-161	高等学校	地理歴史科	世界史 A	全学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	世 A 310	世界史 A		

1. 編修の趣旨及び留意点

現代世界が形成された歴史的背景を明らかにし、現在の諸課題を認識するために、近現代史を中心とした基本事項の理解と歴史的思考力を培うことを主眼とした。その際、地理的条件や日本の歴史と関連付けることで、世界史学習のより着実な習得と定着を目指した。

構成は導入部および 3 部とした。導入部「世界史へのいざない」では、世界史学習を始めるにあたり、写真や地図・年表など諸資料を活用しながら、自然環境と歴史、日本の歴史と世界とのつながりについて考察することができるように工夫した。続いて各部は、第 1 部「近・現代世界史の背景～諸地域世界とその交流～」、第 2 部「成熟するアジアと世界へむかうヨーロッパ」、第 3 部「現代の世界と日本」とし、ユーラシアを中心とした諸地域世界の成り立ちと特質、および諸地域世界間での交流の歴史を踏まえた上で、16 世紀ごろから進行する世界の一体化の過程と現代世界の成り立ちについて理解を深めることができるようにした。

2. 編修の基本方針

以下の基本方針のもとに編修した。

- ・学習者の歴史認識が豊かに育まれるような平易な記述につとめる。
- ・些末な人名・事件の羅列に陥ることなく、当時の人々の日常生活のあり様をとらえるとともに、現代世界の歴史的背景を考察し、理解することを可能とする視点を提示する。
- ・他者を尊重する態度および歴史への参加者としての自覚の成長をうながすため、社会内部での多様性に注目させ、また諸地域世界の形成・発展のみならず、その相互交流にも注目させる。
- ・歴史的事象の多角的な理解を可能にするための写真や歴史地図等の資料を掲示し、それらを学習上効果的に配置する。
- ・歴史に対する関心を高めるとともに、歴史的な思考力を育成するコラムを適所に設置する。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
世界史へのいざない 1 自然環境と歴史 2 日本列島の歴史に見る、世界とのつながり	史料に基づいた正確な記述と客観性・中立性を確保した解釈の提示につとめた。(第 1 号)	口絵 1～8
	歴史の基礎的な資料を活用しながら、課題への自主的な取り組みや、創造的な主題設定、学習者同士での討議を行うことができるよう配慮した。(第 2 号)	口絵 1～8
	人々の主体的な参画により社会の形成・変容がうながされた歴史的事例の提示、その歴史的意味の叙述につとめた。(第 3 号)	口絵 1～8

	「持続可能な社会」の展望のもと、現在の世界が抱える環境問題を歴史的な見地から考察することが可能となるように環境問題等を取り上げた。(第4号)	口絵 1～4
	日本の歴史と世界の歴史とのつながりについて考察ができるようにした。(第5号)	口絵 5～8
第1部 近・現代世界史の背景 ～諸地域世界とその交流～ 序章 古代文明の成立 第1章 ユーラシアの諸地域世界	史料に基づいた正確な記述と客観性・中立性を確保した解釈の提示につとめた。(第1号)	全般
	本文各見開きに学習課題を提示し、学習内容への絶え間ない探究心を喚起するよう工夫した。(第1号)	本文ページ全般(側注欄)
	歴史における職業や生活への着目をうながすため、気候・風土・生活と関連する資料や記述を挿入した。(第2号)	6～7, 16～17, 20～21, 26～27, 36～37ページなど
	圧政への反抗やさかんな経済活動など、人々の主体的な参画によって社会の形成・変容がうながされた歴史的な事実を叙述した。(第3号)	10, 19, 22, 28～29, 38, 42ページなど
	自然環境と歴史の関係について取り上げ、自然環境が人類の歴史の基層となっていることを示した。(第4号)	6～7, 16～17, 20～21, 26～27, 36～37, 50ページなど
	東アジア世界のなかで育まれてきた日本の歴史について取り上げた。(第5号)	6, 10～15ページ
第2部 成熟するアジアと世界へむかうヨーロッパ 第2章 アジア諸帝国の繁栄とヨーロッパ 第3章 大西洋世界の変容とその波及 第4章 産業化社会の拡大と成熟 第5章 アジア諸国の変貌と日本	史料に基づいた正確な記述と客観性・中立性を確保した解釈の提示につとめた。(第1号)	全般
	本文各見開きに学習課題を提示し、学習内容への絶え間ない探究心を喚起するよう工夫した。(第1号)	本文ページ全般(側注欄)
	歴史における職業や生活への着目をうながすため、生活や文化に関連する資料や記述を挿入した。(第2号)	58～59, 70～71, 78, 88～91, 100, 105, 116～117ページなど
	圧政への反抗や革命運動など、人々の主体的な参画によって社会の形成・変容がうながされた歴史的な事実を叙述した。(第3号)	63, 67, 72, 81～87, 92, 103～107, 109, 115, 125, 130～133ページなど
	地理的条件による影響や、環境問題などを取り上げ、自然環境が歴史の基層となっていることを示した。(第4号)	56, 60, 68～69, 89, 98～99, 116, 134ページなど

	世界の歴史のなかに日本の歴史を位置付けることができるように、コラム「世界史のなかの日本」を設置した。(第5号)	73, 97, 109, 123 ページ
第3部 現代の世界と日本 第6章 帝国と民族の時代 第7章 二つの世界大戦の時代 第8章 冷戦と民族独立の時代 第9章 グローバル化のなかの危機 終章 21世紀に生きる	史料に基づいた正確な記述と客観性・中立性を確保した解釈の提示につとめた。(第1号)	全般
	本文各見開きに学習課題を提示し、学習内容への絶え間ない探究心を喚起するよう工夫した。(第1号)	本文ページ全般 (側注欄)
	歴史における職業や生活への着目をうながすため、生活や文化に関連する資料や記述を挿入した。(第2号)	136～141, 155, 158～159, 165, 173, 187, 208～209, 218～219 ページなど
	歴史の基礎的な資料を活用しながら、課題への自主的な取り組みや、創造的な主題設定、学習者同士での討議を行うことができるような頁を設置した。(第2号)	220～221 ページ
	圧政への反抗や革命運動など、人々の主体的な参画によって社会の形成・変容がうながされた歴史的事実を叙述した。(第3号)	146, 148～149, 160～161, 166～167, 178～179, 183～207, 209～217 ページなど
	人権思想の形成や、人権侵害・迫害の歴史的な事実を公正な立場から叙述するようにつとめた。(第3号)	139, 147, 153～154, 179, 182, 198～199, 205, 215 ページなど
	環境破壊の問題などを取り上げ、環境問題を歴史的な見地から考察することができるようにした。(第4号)	196, 205, 208～209, 216, 220～221 ページなど
	世界の歴史のなかに日本の歴史を位置付けることができるように、コラム「世界史のなかの日本」を設置した。(第5号)	149, 167, 193, 201, 217 ページ

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮し、色覚特性にかかわらず学習できるように配慮した。
- ・写真や歴史地図などの資料には項目ごとのまとめで通し番号を付け、対応する本文の上に対該の図番号を付すなど、生徒が使いやすいように配慮した。
- ・本文中の基本的な用語で必要なものについては、注欄で的確な説明を加えた。
- ・第2章～第9章では、各章冒頭の扉ページで、その章で扱う時代・地域全般にかかわるテーマを解説し、また、各節の冒頭で、その節で扱う内容の概観文を設置して学習の利便性を図った。
- ・さくいんでは、人物名は赤字で示し、また、本文箇所のコラムで紹介した人物には印をつけて学習の利便性を図った。
- ・巻末の「世界史年表」、後見返し「主要国の対照年表」では、本文で取り上げた基本事項を地域ごとに年表で整理した。また、日本の歴史の重要事項を併記して、同時代の日本と対照できるように留意した。
- ・再生紙と植物油インキを使用し、環境に配慮した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-161	高等学校	地理歴史科	世界史 A	全学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
2 東書	世 A 310	世界史 A		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- ・前近代史を扱った第 1 部は、第 2 部以降で学ぶ近現代史の学習の理解に必要な内容のみに精選した。
- ・地理的条件や日本の歴史との関連付けを重視し、導入部「世界史へのいざない」では、地理的条件が歴史に与えた影響や日本の歴史と世界の歴史とのつながりを、地図・写真の読み取りや年表作成などを通して主体的に学習することができるように工夫した。また、特に第 1 部において各地域世界の形成過程で地理的条件が与えた影響を考察できるように、地図や写真などの資料も多数掲載した。さらに第 1 章 1 節「東アジア世界」では、年表のなかで、日本の歴史を東アジア世界の歴史に位置付けることができるなどの工夫をこらした。
- ・終章において、現代の世界が抱える問題を取り上げ、既習の内容を整理するとともに年表作成や調査、討議などを行って、現代の諸課題の歴史的観点からの学習活動を主体的に行うことができるように構成した。
- ・導入部「世界史へのいざない」や終章、および本文各見開きの学習課題においては、言語活動の充実を図るため、歴史の基礎的な資料を活用して探究成果を文章でまとめたり、意見を交換したりすることができるようにした。
- ・第 2 章～第 9 章の冒頭では、各章で扱う時代・地域全般にかかわる重要テーマを解説する扉ページを設置し、また、各節の冒頭にはその節で扱う内容の概観文も設置し、これらによって学習内容の見通しを立てることができるように配慮した。また、写真や地図などの資料を中心として文化的な内容を主に扱う見開きページを 8 か所設け、本文で学んだ歴史学習を別の観点からとらえなおしたり振り返ったりすることができるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
世界史へのいざない 1 自然環境と歴史 2 日本列島の歴史に見る、世界とのつながり	内容 (1) ア 内容 (1) イ	口絵 1～4 口絵 5～8	1 1
第 1 部 近・現代世界史の背景 ～諸地域世界とその交流～ 序章 古代文明の成立 第 1 章 ユーラシアの諸地域世界 1 節 東アジア世界 2 節 東南アジア世界 3 節 南アジア世界 4 節 西アジア世界 5 節 ヨーロッパ世界 6 節 南北アメリカ、アフリカ 7 節 ユーラシアの交流圏	内容 (2) ア	5～50ページ	8
第 2 部 成熟するアジアと世界へむかうヨーロッパ 第 2 章 アジア諸帝国の繁栄とヨーロッパ 1 節 中華帝国の繁栄と東アジア 2 節 15～17世紀の東南アジア 3 節 西アジアと南アジア 4 節 16世紀のヨーロッパ 5 節 主権国家体制と世界商業	内容 (2) イ	51～78ページ	8
第 3 章 大西洋世界の変容とその波及 1 節 ヨーロッパとアメリカの諸革命 2 節 産業革命と世界市場の拡大 3 節 ヨーロッパの動乱の波及	内容 (2) ウ	79～100ページ	8

第4章	産業化社会の拡大と成熟	内容(2)ウ	101~118ページ	8
1節	ウィーン体制とその崩壊			
2節	国民国家への道			
第5章	アジア諸国の変貌と日本	内容(2)エ	119~134ページ	6
1節	東アジアの変容			
2節	東南アジアの変容			
3節	南アジアの変容			
4節	西アジア, アフリカの変容			
第3部	現代の世界と日本			7
第6章	帝国と民族の時代	内容(3)ア	135~141ページ	
1節	急変する人類社会	内容(3)イ	142~154ページ	
2節	植民地の拡大と深まる国家の対立			
3節	アジア, アフリカの抵抗運動			
第7章	二つの世界大戦の時代	内容(3)イ	155~182ページ	9
1節	第一次世界大戦			
2節	戦後秩序の形成			
3節	世界恐慌とファシズム			
4節	第二次世界大戦			
第8章	冷戦と民族独立の時代	内容(3)ウ	183~197ページ	10
1節	戦後世界の形成	内容(3)エ	198~208ページ	
2節	アジア, アフリカの民族運動			
3節	冷戦体制の動揺			
4節	冷戦の終結			
第9章	グローバル化のなかの危機	内容(3)エ	209~219ページ	2
1節	グローバル化とアメリカ合衆国			
2節	地域統合の模索			
3節	動揺する中東と世界の地域紛争			
4節	アジアの変容と多様化			
終章	21世紀に生きる	内容(3)オ	220~221ページ	2
			計	70